

30Q-pm27

次世代を担う若者への薬学教育の取り組み (III)

○飯村 菜穂子¹, 北川 幸己¹, 杉原 多公通¹(¹新潟薬大薬)

【目的】新潟薬科大学薬学部では、次世代を担う若者への理数教育の拡充施策の一環として科学技術振興機構 (JST) が推進する「平成 24 年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に選定された。本プロジェクトは、本学がこれまで数年に亘って開講してきた「医療・薬学」講座とともに平行させた形で実施し、地域の中学、高等学校との連携を深めながら多くの児童生徒の科学技術、理科に関する興味、関心と知的探求心等を育成することを目的として実施した。

【講座計画】講座タイトルを『女子中高生集まれ！未来に輝く女子力！「NUPALS サイエンススクール」に参加して貴女の未来をつかもう！』と題し、あらゆる理系方面で活躍しモデルとなる女性科学者、研究者と出会うチャンスとなる講演会、座談会を「NUPALS サイエンススクール」、「NUPALS サイエンスカフェ」で、職場体験学習、実験実習等を「NUPALS サイエンスラボ」で学習した。また新潟薬科大学 (NUPALS) 「医療・薬学」講座については、中学・高校理科を基礎に薬学領域における特に医療薬学、臨床薬学を中心に 10 回の講座を開講した。

【結果・考察】それぞれの講座には数十校の中学・高等学校からの参加があった。受講生からは受講回数を重ねることで確実に理系領域や薬学に対する興味が深まり、勉強することが楽しく思えるようになったなどの感想を聞くことができた。また実際の医療現場における体験学習を通じて薬剤師という職業への憧れをもつ生徒も増えた。さらに講座を受講することで薬学への進学を希望する学生も多くなり、高校 3 年生については講座終了後、本学へ受験する学生も数多く見られた。以上のことから本事業が児童生徒に与えた影響は大変大きく、特に自然科学や薬学に関する勉学意欲を高める効果をもたらしたといえる。